

連載目次

序章

[Prologue](#)

第1回

[Introduction of IT](#)

第2回

[Computer Literacy](#)

第3回

[ITリソースとスキル
\(1/2\)](#)

第4回

[ITリソースとスキル
\(2/2\)](#)

第5回

[ビジネスを進化させる
ためのIT\(1/3\)](#)

第6回

[ビジネスを進化させる
ためのIT\(2/3\)](#)

第7回

[ビジネスを進化させる
ためのIT\(3/3\)](#)

更新日 2002.03.10



Shinobu

注意: 見出しの末尾に [PDF] の記載のある文書を読むためには Adobe Acrobat Readerが必要で
す。下の「無料ダウンロード」をクリックしてインストールすればご覧いただけます

アドビ社のAcrobat4.0
[無料ダウンロード](#)



忍のITコラム

新しい経営スタイルとITの活用

序章 : Prologue

2000年4月吉日

Quote: "The main thing is to construct...always adding, improving, developing. This is my motto." Alexey Pajitnov (Russian software computer-game author and scientific assistant, Computing Center of the Academy of Science in 1995.)

ネクチャードットコム鈴木社長よりIT（情報技術）に関するコンテンツを依頼された。

おりしも、3月24日～3月30日の1週間、サンフランシスコにある米国オラクル本社とアリゾナ州ツーソンで開催されたIFS社（スウェーデンのERPベンダー）のSpring 2000カンファレンスに出席して、ロスアンゼルスからの帰途にこの原稿を書き始めている。



JAL O25機内で入手した2000年3月29日の日本の新聞では、iモードのシステムダウンと三菱自動車の乗用車部門がクライスラー・ベンツ社の傘下になることが報じられていた。

今回の旅行で最初に訪問したサンフランシスコ郊外のオラクル本社は、1999年7月当時にあった100から400番の4棟のビルに加え500、600番の2つの事務棟と1,000人規模のパーティができるオードトリウム、および社員用ジムとプールが敷地内にできていた。

まさに絶好調のアメリカ経済（朝日新聞：1999年第4四半期の米国GDPの実質成長率は前期比年率換算で7.3%成長）を背景にしたハイテク企業の快進撃の感がある。そういえば、フォーチュン500社のインターネットビジネスでオラクルRDBが90%以上使用されているという広告があった。

また、IFSのカンファレンスではeBusinessにフォーカスした製品の発表とビジネスモデルの考え方に関するプレゼンテーションを聞くことができた。

このカンファレンス二日目に行われた著名アナリスト達によるプレゼンテーションでは、米国におけるeBusinessの驚異的な伸び（特に注目されるB2B取引のフォ

ーキャスト)と、そのインターネット上のB2B取引における危険性(特に取引データの紛失)に言及したパネルディスカッションの内容に共鳴するところがあった。

まさに機内で見たと新聞にあったiモードのような社会システムがダウンした時の影響の大きさと重ね合わせてみると、IFSのプレゼンテーションでアナリスト達が警告していたことが、現実の世界で起こっているのだという実感を持った。

(IFS社のURL <http://www.ifsworld.com>)

ここで、考えていくコンテンツでは、インターネットが加速度的に普及してきた社会環境を背景にしたグローバル時代を生き抜いていくための経営と、その経営の第4の資源「情報」を使いこなしていくための技術について考えてみたい。

2000年4月 伊賀忍び 記す

[TOPに戻る](#) | [HPに戻る](#)

[E-Mail](#)